

フルートオーケストラ
うみ おえ
湖笛の会

35周年記念演奏会

琵琶湖周航の歌100周年

琵琶湖からのメッセージ

第1部

天湖頌 (琵琶湖周航の歌幻想)
中村 典子 作曲

フルートオーケストラのための典礼風舞曲
「雨乞い」 廣瀬 量平 作曲

フルートオーケストラのための
「マリン・シティ」 廣瀬 量平 作曲

フルートオーケストラ作品集より
かざはや 上林 裕子 作曲

委嘱作品
飛び出し小僧 パート IV
～フルートオーケストラのための～
若林 千春 作曲

第2部

～湖国から日本をめぐる民謡の旅～

中村 典子 作曲
水の輪のように (江州音頭幻想)

武野 晴久 作曲
日本民謡によるパラフレーズ

ソーラン節

会津磐梯山

阿波踊り 他

上林 裕子 編曲
琵琶湖周航の歌

旅人(語り)/谷田 昌蔵
和太鼓/くみこ

指揮/富久田 治彦

客演指揮/青木 明

2017年 7月23日(日) 15:00開演(14:30開場)

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 中ホール

入場料 ¥3,000(前売り¥2,800)

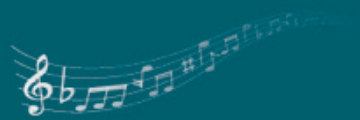
主催/湖笛の会

後援/滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、BBCびわ湖放送、e-radioエフエム滋賀、KBS京都、公益財団法人平和堂財団、しがぎん経済文化センター・KEIBUN、滋賀県吹奏楽連盟、一般社団法人日本フルート協会

《お問合せ》湖笛の会事務局 Tel:0748-74-0406 Email: info@umibuenokai.com

チケットは湖笛の会、びわ湖ホール、県内各ホール、有名楽器店にてお求めください。





「湖笛の会」は1982年、滋賀県に縁のある女性フルーティストにより結成される。フルートオーケストラは、主にメロディを受け持つコンサートフルートを中心に、高音部にピッコロ、ソプラノフルート、中音部にアルトフルート、低音部にはバスフルート、コントラバスフルートで構成され、音域を広げることによってパイプオルガンのような豊かで、温かみのあるサウンドを創り出している。演奏活動は国内各地に留まらず、1992年のロサンゼルスを皮切りに、ウーン、パリ、ソウル、韓国光州、上海、台北、ニューオリンズなどで公演も行い絶賛を浴びる。2016年7月大阪いずみホールでの「日韓国交正常化50周年記念コンサート」に出演。1987年繁緑文化振興財団より助成、1992年滋賀県文化奨励賞、2010年財団法人ヤマハ音楽振興会より助成を授与される。また2012年、作曲家集団「クラムジカ」から、11曲のフルートオーケストラのための新作が湖笛の会に捧げられ初演。創立年度より「フルートだけのオーケストラ」による可能性と魅力を追求した定期演奏会、1999年より年6回継続している琵琶湖ホテルチャペルコンサート、34年以上の歴史を重ねる「日本フルートフェスティバルin滋賀」の開催など幅広い活動を展開。また2011年全国規模の「日本フルートコンヴェンション」滋賀への誘致と成功の裏には、メンバー相互の結束力とユニークな企画力・演出力が余すところなく発揮され、国内外からも注目を集めた。日本の四季の童謡と琵琶湖の美しい情景をフルートオーケストラで綴ったCD「湖の四季」、絵本付きCD「猫・ねこ・ネコ」をリリースしている。湖笛の会のサウンドは、気品があり、透明感あふれる滋賀の音色として人々の心をとらえ、琵琶湖をわたる爽やかな風のように親しまれている。その集大成ともいふべき「ふるさと・琵琶湖哀歌・琵琶湖周航の歌」のCD(1000円)を2014年にリメイクし、好評発売中である。



松山 克子



中山 登志子



梅本 伸子



山田 正子



奥貫 美智子



小山 仁美



芝田 さゆり



明田 和江



古谷 裕美子



宇野 英子



細野 美樹



山本 裕美



酒井 香依



小山 陽子



柴田 真由美



中川 未希



大滝 えみ



吉岡 由美



村上 奈美



千藤 里子

多田 コウ子
(1部のみ)生瀬 英津子
(2部のみ)北井 久美子
(2部のみ)高野 真吏
(2部のみ)塚本 糸里
(2部のみ)

富久田 治彦 (指揮)

名古屋フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者。フルートを12歳で始め、川瀬瑩公氏、伊藤公一氏に師事する。京都市立芸術大学を経て、1988年同大学院を修了。修了に際し大学院賞を受賞。在学中に第3回日本フルートコンヴェンションコンクール第1位。NHK洋楽オーディションに

合格。1989年名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。その後、第1回日本木管コンクール第2位。1991年にはパロックザールでのリサイタルが評価され、青山音楽賞を受賞。1995年アフィニス文化財団海外研修員に選ばれ、アメリカ合衆国へ留学。ミッシェル・デボスト氏、フェンヴィック・スミス氏のもとで研鑽を積む。ソリストとして、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共にイベル、ライネッケ、ニールセン、モーツァルト、J.S.バッハ、武満など協奏曲等を数多く演奏している他、宗次ホール主催「富久田治彦プロデュースによる室内楽シリーズ」やリサイタル、アジア・フルート・コンGRESS、日本フルート・コンヴェンション等で活躍している。京都市立芸術大学・大学院、相山女学園大学等において後進育成にも努め、また各地でマスタークラスや講演、指揮者としても幅広く活躍している。日本音楽コンクール、日本木管コンクール等審査員を歴任。アジア・フルート連盟常任理事。



青木 明 (客演指揮)

1956年東京芸術大学音楽学部フルート科卒業。東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、上野学園大学、武蔵野音楽大学、桐朋学園芸術短期大学、名古屋芸術大学、及び大学院教授を経て現在同大学名誉教授。フルートを故 山田忠男、故 吉田雅夫、故 M.モイズ、の各氏に師事。現在までに8回のリサイタルを開催する。指揮法を故 渡辺暁雄氏に師事し、東京フルートアンサンブル・アカデミーの創立指揮者としてフルートオーケストラの創始に尽力する。1961年にツイス木管五重奏団を結成する。日本フルート協会前副会長、日本管打吹奏楽学会理事。長年管打楽器コンクールフルート部門審査委員長を始め、内外のフルートコンクールの審査員を務め、2016年には日本管打吹奏楽学会よりアカデミー賞(演奏部門)を授与される。

創立時より大変お力添えを頂き、湖笛の会にとっては、「湖笛サウンド」の育ての親として、かけがえのない存在です。35周年に、特別にお招きいたしました。

谷田 昌蔵
旅人(語り)

ぐみこ (和太鼓)